

平成23年度学内版 GP 成果報告書

取組名	ディプロマ・ポリシーに基づく教員養成カリキュラムのトータル・プランニング
実施組織	教育学部・臨床教育推進室
実施責任者	伏木 久始
取組の目標	入学時から卒業段階までの臨床経験を含めた学習履歴をデジタルポートフォリオに蓄積し、個人カルテに反映させて点検評価するシステムを構築し、学生自ら目標を設定して「教師力」を高めるような教員養成カリキュラムを、教育学部のディプロマ・ポリシーに基づいてトータルにプランニングすることを目標にした。教育学部改組に合わせて、ディプロマ・ポリシーに連動する教員養成カリキュラムを開発し、その指導体制の構築も含めて教職課程の質保証の基本システムを構築することが平成 25 年度までの必須課題でもある。本プロジェクトはそのための基盤研究となる。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	(1)平成 22 年度から継続して取り組んできた教員養成カリキュラムの開発プロセスに関しての研究成果と情報交換 ①日本教師教育学会(H23.9) ②日本教育大学協会全国研究集会(H23.10) ③岡山大学教育学部・教員養成フォーラム(GP)での協議(H23.4.3) (2)教職実践演習の授業開設準備のためのホームページの整備 ①ウェブサイトでのフィールド実習先一覧ページ作成 ②学内イントラネットでの授業運営システムの開発準備 (3)学生の授業改善アンケートに関する評価データの分析 ①統計ソフトによるデータ分析 ★以下は本GP予算の範囲内では実現が難しく、他の予算で取り組んだものであり、いずれも次年度に継続して整備していく案件であるが、学内版のGP申請段階では活動内容に含めているので、項目のみ列挙しておく。 (4)デジタルポートフォリオ・システムの開発 (5)大学の授業改善のためのICT教育技術の導入 (6)教員のコンピテンシーリストの作成と補充プログラムの開発
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	ディプロマ・ポリシーに連動したカリキュラム設計は完了した。そのカリキュラム開発プロセスのオリジナルな取り組みを全国各地の教職課程を担うスタッフに紹介し、意見交換をしながらカリキュラム設計に生かした。また、学習履歴をデジタルポートフォリオに蓄積し、個人カルテに反映させて点検評価するシステムも完成し、今後は具体的なデータを入力しながら必要な調整をすることになる。ただし、新免許法により4年次に開設が義務化された「教職実践演習」の具体的な授業プランは次年度に継続検討することになった。平成 24 年度前期にはトータル・プランニングとしてのカリキュラムとその指導体制が決定できる見込みである。